


【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	4			シート作成者	-	-		
事務事業名	春の市民まつり開催事業			事務区分	自治事務	部課かい名	総務部 市民自治推進課	
事業の目的	市民による手作りの祭りを実施し、賑わいを発信する			事業の目標		・幅広い世代の参加者が安全・安心して楽しめるまつりを実施する ・市民活動団体の参加を促進する		
事業の概要	実行委員会と協議し、業務分担を明確化していくとともに、各業務委託内容の精査をして、さらにはボランティアの活用を進め、より市民の参加型イベントとして継続実施していく。							
対象	市民			事業の性質区分	政策		業務計画	■
指標	来場者数							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
35,000人	35,000人	50,000人		50,000人		5,0000人		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	1,162,000	963,000	868,000			
	予算額	1,162,000	1,162,000					
	決算額	1,162,000						
	執行率	100.0%						
	従事者数	0.8	0.61					
	職員	0.7	0.53					
	臨時・非常勤等	0.1	0.08					
財源内訳	特定財源	国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	1,162,000	1,162,000				

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
大岡越前祭や産業フェアと同日開催し、春の定例行事として定着している。市民活動団体の日頃の活動の発表の場となっているほか、市の施策を推進するための企画を盛り込んだり、市担当課による市政情報を紹介したりすることで、市の取り組みの情報発信の場ともなっている。 企画・運営については、市民参加の実行委員会形式を取っており、今後もより柔軟なアイデアを活用し、参加者目線でのまつりを実施するためには、引き続き実行委員会形式とする必要がある。	
事業実施状況に対する分析（課題の抽出）	
事業成果	来場者数は目標どおりとなった。ミスハワイによる特別ステージイベントの実施や、ホノルル市・郡との姉妹都市締結を記念した特設ブースの設置などを通して、市政情報を発信し、多くの方に市の取り組みを知っていただくきっかけづくりとなった。
事務効率	まつり当日の実行委員会・ボランティア・職員の役割分担を見直し、出勤する職員を減らし、人件費を縮減することが必要である。ただし、企画・実施・運営のいずれの段階においても、実行委員会と職員の役割分担が不明確な部分があるため、今後改善が必要である。
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	まつり当日、実行委員会イベントの対応について、実行委員会やボランティア対応の割合を増やすことにより、当日出勤する職員数を30%~40%削減し、まつりの効率的な運営を目指す。 まつりの開催や参加者募集に加え、ボランティアの募集に関しても、広く実施していくことで、効率的にまつりの周知を行うとともに、ボランティアによるまつり運営を可能にする。

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	5			シート作成者		-		-	
事務事業名	なんでも夜市開催事業			事務区分	自治事務		部課かい名		総務部 市民自治推進課
事業の目的	市民による手作りの祭りを実施し、賑わいを発信する。併せてリサイクルについて考える機会とする。			事業の目標	・市民参加型イベントとして祭りを作りあげる				
事業の概要	実行委員会と協議し、業務分担を明確化していくとともに、各業務委託内容の精査をして、さらにはボランティアの活用を進め、より市民の参加型イベントとして継続実施していく。								
対象	市民			事業の性質区分	政策		業務計画	■	
指標	来場者数								
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
20,000人	25,000人	25,000人		25,000人		25,000人			
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください			
事業費	実施計画事業費	-	1,049,000	869,000	784,000				
	予算額	1,049,000	1,049,000						
	決算額	1,049,000							
	執行率	100.0%							
	従事者数	0.75	0.54						
	職員	0.66	0.46						
財源内訳	臨時・非常勤等	0.09	0.08						
	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
一般財源	1,049,000	1,049,000							

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>夏の夜の祭典として、環境に配慮しながら地域住民に「ふれあいの場」と「楽しみ」を提供し、市民が賑やかな夏の思い出を共有するためには、一定の規模で開催する必要がある。また、企画・運営手法については、より柔軟なアイデアの活用、運営を実施することが可能となるため、実行委員会形式を採る必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	開催告知手法を追加したことにより、参加者(出店者)数が増加したことなどが要因となり、来場者数は目標どおりとなった。アンケートによると、まつり当日は閉会時間まで客足が途絶えず満足であったことなどの意見が寄せられた。
事務効率	まつり当日の実行委員会と職員の役割分担や、職員の出勤体制を見直し、職員人件費を削減することが必要と考える。今後実行委員会イベントの運営方法を見直し、更なる改善を検討する。
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	まつり当日、実行委員会イベントの対応について、実行委員会やボランティア対応の割合を増やすことにより、当日出勤する職員数を30%~40%削減し、まつりの効率的な運営を目指す。まつりの開催や参加者募集に加え、ボランティアの募集に関しても、広く実施していくことで、効率的にまつりの周知を行うとともに、ボランティアによるまつり運営を可能にする。

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	6			シート作成者		-	-
事務事業名	市民ふれあいまつり開催事業			事務区分	自治事務	部課かい名	総務部 市民自治推進課
事業の目的	市民参加型の祭りを開催し、市民のレクリエーション、コミュニケーションの場を提供する。併せて、福祉の向上に寄与する。			事業の目標	・まつり参加者が安心して楽しめるまつりにする ・市民活動団体による店舗出店、ステージ出演を徹底する		
事業の概要	実行委員会と協議し、業務分担を明確化していくとともに、各業務委託内容の精査をして、さらにはボランティアの活用を進め、より市民の参加型イベントとして継続実施していく。						
対象	市民			事業の性質区分	政策	業務計画	■
指標	来場者数						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
45,000人	50,000人	50,000人		50,000人		50,000人	
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	-	1,820,000	1,508,000	1,359,000		
	予算額	1,778,000	1,820,000				
	決算額	1,777,680					
	執行率	100.0%					
	従事者数	0.8	0.56				
	職員	0.7	0.48				
	臨時・非常勤等	0.1	0.08				
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,777,680	1,820,000				

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
市民参加型の祭として32回目の開催となり、市民のレクリエーション、コミュニケーションの場として定着しており、引き続き一定の規模で開催する必要がある。また、企画・運営手法については、より柔軟なアイデアの活用、運営を実施することが可能となるため、実行委員会形式を採る必要がある。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	メインイベントにキャラクターショーを実施したことにより、子ども連れの来場者が多くみられた。また、ホノルル市郡との姉妹都市提携にちなんだホノルルブースにもたくさんの方が訪れ、姉妹都市についてアピールができた。
事務効率	まつり当日の実行委員会と職員の役割分担や、職員の出勤体制を見直し、職員人件費を削減することが必要と考える。今後、実行委員会イベントの運営方法を見直し、更なる改善を検討する。
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	まつり当日、実行委員会イベントの対応について、実行委員会やボランティア対応の割合を増やすことにより、当日出勤する職員数を30%~40%削減し、まつりの効率的な運営を目指す。 まつりの開催や参加者募集に加え、ボランティアの募集に関しても、広く実施していくことで、効率的にまつりの周知を行うとともに、ボランティアによるまつり運営を可能にする。

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]